

はなみずき

編集:熊本きぼう福祉センター・熊本きぼう生活支援センター 編集人:森田 哲史 Eメール:kiboufc@deluxe.ocn.ne.jp

Vol 408(令和6年5・6月)

一般社団法人熊本県精神保健福祉会連合会

代表:飯塚 幸二

〒861-4106 熊本市南区南高江 7-8-77

Tel096-358-4054 fax096-358-3337

定価 100円(会費に含む)

ご報告

菊池地域家族支援教室開催しました

令和6年7月12日(金)菊池市中央公民館において菊池地域家族支援教室を開催しました。菊池地域家族会会員の皆様の他、地域の相談支援事業所のスタッフやご家族の方など、初めて来られる方もおられ、18名の方が足を運んでいただきました。「親亡き後の備えについて」の話が聴きたいとのことでしたので、熊本県連家族会の理事である村上泰幸氏に来ていただきました。何回聴いても新たな発見や気づきがあるので驚きます。親亡きあとの3つの不安として①お金②暮らし③サポート、があげられました。本人がお金に困らないための備えは大事ですが、無理して沢山残すより確実に本人にわたる仕組みづくりが必要との言葉が心に刺さります。大金を持つと一度に使ってしまうかもと自分自身であっても心配です。サポートも「兄弟親族に頼り過ぎないこと」の言葉は自分たちだけで抱える必要はないと言ってもらったような気がします。家族・行政・医療・ワーカー・後見人・近隣などなど見守りチームを形成するのに、村上さんは「親あるうちに」と、親亡き後の準備のお手伝いをされています。「熊本県は村上さんがいるから安心」との声が聞きました。会場に集まった方は、自分の家族について個人的に聞きたいようでしたが、「今回は村上氏と顔がつなが事ができ、次回相談する勇気がわいた」と帰っていかれました。



お知らせ

第52回熊本県精神障がい者家族大会

大会テーマ 「今こそ家族会！！もう一人で悩まない」

日時: 令和6年9月13日(金) 12:30~16:00

会場: 熊本県立劇場 大会議室 ※会場とオンラインのハイブリット形式を予定しています

内容: 記念講演(13:30~15:00)

テーマ「スポーツがもたらす 心の病をはね返す力」

講師 岡村 武彦 氏(大阪精神医学研究所 新阿武山病院 院長)

・活動報告(15:10~15:50)

テーマ 「心に寄り添い灯りをともしることができる居場所づくり

～生きづらさを抱える人たちの心の休み処“おだやかな居場所『光』”の紹介～

報告者 地内 豊子氏(人吉球磨精神保健福祉ボランティア「麦の会」 会長)

※オンラインでの参加について、詳細は次号に掲載いたします



連絡会報告

きぼうの家連絡会再開に期待

代表 阿蘇きぼうの家所長 湯浅聡子

6 月 1 日コロナの影響もあり 6 年ぶりになるだろうか、きぼうの家連絡会が開催された。久しぶりの開催で集まった施設は県連含め 5 事業所、オンラインで 2 事業所計 7 事業所が参加した。上益城きぼうの家施設長井手さんとも話したが、「私たちは 10 年県連には来てないのでは？道を覚えて良かった」と笑い話をした。就労継続支援 B 型に移行し毎日、慌ただしい業務に追われ、自分たちの事業をやっていくことで精いっぱいだった。(今もあまり変わりはないが・・・)



今回、連絡会の再開に声を上げてくれたのが県連の森田さんだった。話を聞いた時には、もう、各法人を立ち上げ自力で皆頑張っているのでは？と正直思ったが、昔の事を思い出した。平成 18 年制度変更に伴い、法人格を有しないと作業所→地域活動支援センターを開設することが出来ないと分かり、私たちは連絡会でそのことについてどうするのがベストなのかを話し合った。社会福祉法人を取得するには資金が無い、NPO 法人を立ち上げる知識が無い、作業所を閉めるしか無い、近くの施設に統合してもらおう、県連の傘下に入れてもらえないか等様々な意見を出し議論した。県連の意見を聞くと自分の所で精一杯との回答だった。確かにそうだ、あのころきぼうの家連絡会は 13 事業所、全部を背負う事はリスクが高いと今考えれば当然の答えだったと思うが、その当時は私たち作業所も今以上に頑張ることを伝えようかならないかと懇願した記憶がある。答えは変わることは無かった。私たちはそれから NPO 法人取得に向け、分かることを連絡会仲間と共有しながら法人を設立することができた。これも連絡会があったお陰だと思う。

私は、平成 13 年から作業所で働かせていただいている。この投稿を依頼された時に 23 年前の事を思い出した。何も分からなかった私に連絡会は本当にありがたい存在だった。良き先輩方に沢山の事を学んだ。話しが逸れ雑談になる事もしばしばあったが、それも勉強本当にその時々で皆、仲間の為に何が出来るのかを精一杯議論した。その甲斐あって、今の事業所が軌道に乗り安定した運営が出来ている事は間違いない。

今回のきぼうの家連絡会の再開は次のステップ UP の為の会にしたい。この 23 年の間には、色々なことが目まぐるしく変化している。今後も障がい者を取り巻く環境は変化を続けることは間違いない。その時に、施設として何が出来るか、何をすべきかを連絡会で共有し仲間たちが安心した生活を送れる社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

情報

熊本県営有料駐車場において障がい者割引をはじめます

令和 6 年 7 月 1 日(月)から熊本県営有料駐車場(熊本市中央区安政町 3-9)において、障がい者の方への駐車料金の半額割引の実施が始まりました

○対象となる方：①身体障害者手帳②療育手帳③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が運転あるいは同乗する場合、駐車料金を割引します

○割引内容：駐車料金の半額を割引

○割引時の対応：自動車を出庫させる際、駐車場係員へ上記手帳(ミライロ ID※を含む)を提示することで割引を実施

※ミライロ ID：スマホに障がい者手帳を登録することができるシステム

お知らせ

「心の輪を広げる体験作文」募集！

毎年 1 2 月 3 日から 9 日は障害者週間です。

熊本県では、障害者週間を中心に、障がいのある方への理解を広げるために、1 2 月の障害者週間を中心に障がいのある方への理解促進を目的とした啓発イベント「くまもとハートウィーク」を開催しています。その一環として、内閣府との共催により、別紙のとおり「心の輪を広げる体験作文」を募集します。応募作品は関連の催し会場に掲示するなど啓発に活用する他、県最優秀賞受賞者については、例年全国選考に推薦するとともに、「くまもとハートウィーク」において表彰しております。すべての国民が、障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重しあい、理解し合いながら生きることのできる「共生社会」を実現するため、障害や障害のある人に対する身近な体験や自分の思いを作文や絵にして応募してみませんか。

募 集 要 項

募集テーマ

出会い、ふれあい、心の輪

— 障害のある人となない人との心のふれあい体験を広げよう —

※応募する作品の題名は、自由に設定可能です。

応募資格

小学生以上

※小学生以上であれば、障害の有無にかかわらずどなたでも応募可能です。

応募方法

- ① 応募は「小学生区分」、「中学生区分」、「高校生区分」及び「一般区分」のいずれかとし、未発表の作品 1 編に限ります。
- ② 作文の題は自由。障害のある人とのエピソードや、暮らしの中で疑問に感じたことなどを書いてください。
- ③ 作文は、原則として 400 字詰原稿用紙 (B4 判または A4 判横向き・縦書き) を使用し、「小学生区分」及び「中学生区分」については 2～4 枚程度、「高校生区分」及び「一般区分」については 4～6 枚程度とします。
- ④ パソコン等の電子機器による作成も可とします。
※用紙は③に準ずるものとします。
- ⑤ 第三者が知的財産権を保有する著作物を使用しないでください
- ⑥ 応募作品には、題名 (作品のタイトル)、住所、氏名 (ふりがな)、年齢 (生年月日)、職業又は学校名 (学年)、電話・FAX 番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を添付してください。

※他者の作品や他の公表物等の流用や模倣、盗用、不適切な引用等 (生成 AI の使用を含む) はしないこと。

募集期間 令和 6 年 7 月 1 日 (月) ～ 9 月 5 日 (木) 必着 (熊本市以外)

応募先 熊本県障がい者支援課 TEL 096-333-2235 FAX 096-383-1739

※熊本市は令和 6 年 7 月 1 日 (月) ～ 9 月 2 日 (月)

詳細は熊本市障がい福祉課にお問い合わせください TEL 096-361-2519



義援金募集のお礼

令和6年能登半島地震義援金のお礼とご報告

このたびの【令和6年能登半島地】で被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
上部団体である「公益社団法人全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）」が能登半島地震を受けて災害対策本部を立ち上げ、令和6年1月24日から義援金の受付を開始しました。それを受けて、熊本県連では、「全国から支援をうけた8年前の恩返しをしませんか」と声かけを行い、県連各地から義援金のお願いし、6月27日まで実施させていただきました。ここに集計結果をご報告させていただきますと共に、みなさまからの温かいご支援に心より御礼申し上げます。お預かりいたしました義援金は、みんなねっと災害対策本部に送金済みです。

義援金総額 106,007円

ご協力ありがとうございました

県連本部事務局及び熊本きぼう福祉センター報告

(4月1日～6月30日)

4月 5日 (金)	きぼう花見／於梶免公園	
15日 (月)	避難訓練／於熊本県連家族会館	
25日 (木)	九州ブロック代表者会議／オンライン開催	
5月 8日 (水)	山鹿市家族会役員会／於山鹿きぼうの家	
14日 (火)	県連理事会／於熊本県連家族会館	
15日 (水)	熊本県精神保健福祉協会理事会／ZOOM、国立菊池倫理委員会／於国立菊池病院	
18日 (土)	県連決算総会	
23日 (木)	明生病院家族会総会／於明生病院	
29日 (水)	阿蘇地域家族会／於阿蘇きぼうの家、地域移行南区部会／於南区役所	
30日 (木)	熊本県精神保健福祉協会通常総会	
31日 (金)	熊本きぼう福祉センター家族会・総会／於熊本きぼう福祉センター	
6月 5日 (水)	差別解消法説明会／オンライン参加	
7日 (金)	みんなねっと総会／オンライン参加、玉名地域家族会総会／於玉名市福祉センター	
14日 (金)	南区ネットワーク会議／於南区役所	
17日 (月)	熊本県障害者スポーツ・文化協会理事会	
19日 (水)	水俣芦北地域家族会総会	
21日 (金)	宇城地域家族会総会／於宇土市民会館	
27日 (木)	県社協評議員会／於県社協	

<7月の日程>

- 9日 (火) スポレク大会事務局会議 (オンライン)
- 12日 (金) 菊池地域家族支援教室／於菊池市中央公民館
菊池地域家族会総会／於菊池市中央公民館
九州ブロック代表者九州運輸局要望 (オンライン)

<8月の日程>

- 24日 (金) 県連代表者会議

夏真っ盛りです 体温より高い気温に驚きます
自分なれるわけないと思いがちの「熱中症」ですが、
気をつけないとまさかの事態はすぐそこです (柄菓子)

